

平成5年8月

第21号

札幌東高等学校同窓会

いあいさり

北海道札幌東高等学校同窓会会長

吉中新太郎



今年の夏は政権交代を賭け、久し振りに有権者が日本の将来を選択しうる選挙権を手に入れて、大いに燃えた夏でありました。

その最中、北海道は南西沖大地震に襲われ、同窓会の皆様やご関係者にも被害に遭われた方がいらつしやるのではないかと案じ、被災された方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

近年、母校は進学校としての評価をますます高めておりますが、今春の大学合格数で目を見張る大躍進を果たしました。北大では北・南に次いで東校が第三位に付け、小樽商大、室蘭工大、道教育大では第一位、国立公大の合格数で全道一となるなど、最近の上昇気運の総仕上げとも言うべき好成绩であります。諸先生の卓越したご指導に感謝いたしながら、後輩の快挙に喝采を贈るものであります。

また同窓会では昨今の生徒数増加に伴い毎年五百名を超える卒業生をお迎えして年々規模を大きくしておりますが、同時にクラス会、同期会、同好会、各支部などの活動はより活発化したし、昨年の総会では七五〇名の多数に会券を購入して戴き、バブル崩壊後の不況のもと、財政面で危惧していた総会も立派な結果で終えることが出来ました。こと、会員のご協力にお礼申し上げますと共に実行委員皆様のご努力に深く感謝いたします。

この他にも昨年は色々な行事に出席させて頂きましたが、東京支部総会は年毎に参加者を増加させ誠に盛会で充実した会合であり、東高合唱部とOBによる演奏会は合唱部同窓会の力強い後援のもと極めて水準の高い演奏会を開催され感銘を深めてまいりました。

このように、母校の評価も同窓会活動も共に高まりつつある今の気運をぜひ後年度にも持続いたしたいもので、学校並びに同窓会皆様のますますのご健闘を祈念いたします。

いあいさし

札幌東高等学校長 阿部 皎



奥尻を襲った日本海西部地震による津波の被害はその状況が明らかになるに従って大きくなっています。島民の方々に心からお見舞いを申し上げます。

第四十四回の東高祭も成功裏に所期の目的を達成し終了しました。生徒、教職員、PTA、同窓会の皆様と共に喜び合いたいと思います。奥尻に目を向けよう、と、校友会の提唱により、東高祭において奥尻義援金バザー・緑日、PTAによるチャリティーバザー、更には生徒の募金活動等を企画開催をして、奥尻出身の本校在校生の家庭、島民の皆さんを激励するために行動を起してくれました。

同窓生各位におかれましては、益々ご壮健にてご活躍の毎日かと存じます。日頃は母校と後輩のために何かとご支援を頂き感謝を申上げる次第であります。

◎ 足どり軽く

その学校の生徒が明るく楽しく希望をもって学んでいるかどうか、を見る方法は色々あります。授業の参加態度、各種教育活動の様子、全校集会、部活動の参加状況等があります。が、然し、朝、生徒が登校して来る時の姿に、生徒の学校生活への適応状況がよく見えるものです。

東高校の生徒は、足どりが軽くりズミカルであります。学習や部活に生々と参加している証であり、生徒の顔も明るく実にさわやかそのものであります。

◎ 金字塔

今春の卒業生は、大学入試において創立以来とも言うべき画期的な成果をあげ、全道に大きな刺激を与えました。今後に向けては輝かしい金字塔を打ち立てたのであります。別表を参照して下さい。

国立大学の現役合格者は、全道一位でした。現役と浪人の合格者では、北大が83名で三位、小樽商大が50名で一位、道教育大が70名で一位、室工大16名で一位、北見工大その他となっております。

おります。

来年度以降も目標が明確であり、新教育計画も他校に先がけ実施し、教職員が一丸となって、生徒の自己実現を目指す学力の向上に向けて、学校全体が燃えているのであります。

国公立大学現役合格者数推移

年度 順位	現役合格者				
	3年	4年		5年	
1	旭川東 257	札幌北 224	札幌東 236	札幌東 204	札幌東 173
2	札幌北 255	札幌南 216	札幌北 204	札幌北 202	札幌旭丘 167
3	札幌南 184	旭川東 198	旭川東 188	室蘭栄 161	札幌西 155
4	札幌西 182	北見北斗 188	室蘭栄 186	札幌旭丘 139	函館中部 147
5	札幌手稲 169	札幌手稲 186	札幌旭丘 178	札幌南 139	北見北斗 143
6	札幌東 164	札幌東 156	札幌西 156	札幌手稲 139	
7	札幌旭丘 153	札幌西 136	札幌旭丘 136	函館中部 133	
8	釧路湖陵 139	室蘭栄 136	函館中部 133		
9	室蘭栄 136	北見北斗 129			
10	北見北斗 129				

◎ 東高の教育力

毎年、道内・本州から学校視察のため本校への来訪者が多いのです。他校に紹介できることを示しますと、

(一) 生徒のために、(学力の向上、人間形成、進路実現)等に、全教職員が教育愛と使命感をもって、大同団結、一致協力して教育活動を実践し抜くところにあります。

(二) 青年として、高校生として、よい生活習慣や生活のリズムを持つことが、学力向上の土台であると、確信を持って教育を行なっているのであ

ります。現代の社会は、ともすると勉強さえできれば、甘えが許されてしまふ風潮のなかにあっても、東高は人間として大切なことを守り育てているのであります。

(三) 生徒の生活の場である学校を美化、整理、整頓を徹底して行なっています。東高が創立以来、八十六年間守り継承して来た大切なこととしているのです。これも、教職員の一致した協力態勢がないと維持できるものではありません。この環境の美化、清掃が生徒の明るくさわやかな資質形成や学習の雰囲気をつくるのに大きく影響しているのであります。

卒業生の皆さん、一度母校、後輩の学習している姿を見に来て頂きたいものです。

東高の三年間は、人生における自己実現を図る上で、大きな価値があった、と将来、青春時代を思い起してくれる教育を実践しているのであります。全教職員は、東高の教育の仕事を愛し、誇りを持って日々地道な教育活動を実践しているのであります。

卒業生の皆さん、東高の教育と教職員・生徒に一層のご支援をお願い申し上げますと共に、同窓会のご発展を祈念し、母校の近況の報告をもってご挨拶といたします。

昨年の同窓会当番期を振り返って

東高九期卒・実行委員長 乙丸 修弥



出席者六一五名、チケット前売り七
四二枚、終ってみれば大成功！

「燃える夏」をテーマに昨年より
一人でも多くの人に出席していただく
ことを合言葉に思い出話に花が咲き
再会を喜びあえる楽しい集いの雰囲気
づくりのお手伝いを考えました。パブ
ル経済がはじけた苦しいご時世に、多
くの不安を感じて川島大介実行委員長
から引き継ぎました。幸いに川島先輩
や吉中会長、総会担当の田中、大黒高
副会長の適切な助言を受けて開催する
ことが出来たことを感謝します。
母校の教職員の方々の年令を超える

年長組のかくしゃくとした大先輩のご
臨席をいただき、様々な分野で活躍す
る現役バリバリの高女の方々のご出席
をいただいた時、会報の題字が「東高
同窓会」だけでは不適切であると考
えた。親・子・孫と三代を東高で学ぶ
ファミリー等、札幌区立職業学校から八
五年という輝かしい歴史と伝統を感じ
ずにはられない。

九期、二三期、四二期が心をひとつ
にして成しえた同窓会。先輩も後輩も
渾然一体となった懇親会。バルセロナ
オリンピックの年に大きな思い出をつ
くってくれた多くのスタッフに感謝を
します。

そして近い将来、一千名の同窓生が
集う時が必ずくることを信じて共に、
母校のさらなる発展と恩師のご健勝を
祈念し、第八四回東高同窓会が実行委
員の皆様によってさらにすばらしい広
がりとなり、より盛会となることを願
って引き継ぎとさせていただきます。

第44回 東高祭

テーマ “燃焼”

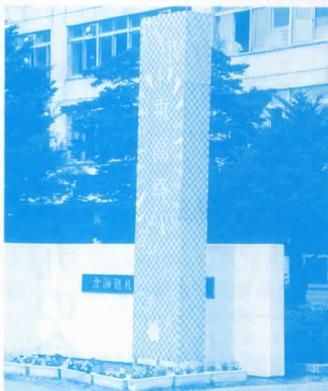
Burn up '93

快晴に恵まれた恒例の学祭が7月16
日（金）より18日（日）まで開催、18
日が一般公開されました。パンフレッ
トも三年七組三津原有紀子さんのデザ
インが、いままでとは一味違った感じ
で大変良かったと思います。その中で
阿部皎学校長の「灰と化すとも」で短
い青年前期の刻を、自己を磨き可能性
の実現を目指して完全燃焼せよとの言
葉が印象に残りました。例年同窓会室
の卓上の花を持参して戴いております
小林同窓会副会長には大変感謝申し上
げます。又16日の会場準備にお手伝い
戴きました高女の塩野次子さんありが
とうございました。在校生の一年十組
の大内崇士さんのお父さんも同窓会室

のアルバムを熱心に見ていました。北
大経済学部教授黒田重雄さん（東九期）
も息子さんが三年生とのことで同窓会
室に来てくれました。
毎年一人でも多くの方の同窓生の来
室をお待ちしております。是非一度来
て見て下さい。

母校担当

- 高女24期副会長 秦 泰子
- 東高9期副幹事長 陣内幸則
- 東高19期副幹事長 中村紀子



卒業三十五周年記念同期会

八東会（東高八期卒業）東京支部当番幹事

佐々木利勝 神尾（吉広）康子

私達、東高八期生は今年卒業三十五周年に当たりますので、札幌本部と東京支部との合同で修学旅行の第一歩を記した思い出の地、日光の鬼怒川温泉で（四月一〇日〜十一日）一泊二日の同期会を行いました。

札幌から一三名と佐藤恭一先生ご夫妻、東京支部から二〇名遠くは九州大分から卒業以来初めてと云う人もいて計三十五名が四月一〇日東武鉄道の始発駅浅草に集合致しました。

久しぶりに逢う友みんな生き生きとした青春の顔々でした。その夜の祝宴はお互いに旧交を暖め、大いに盛り上



がり二次会でも又々話がつきず懐かしい思い出とともに夜は更けました。

翌日はゴルフ組、観光組と各々楽しみ、帰りは東武鉄道の今市駅で合流して浅草に向かう、なごり惜しい二日間でしたが又の再会を期して浅草で解散いたしました。

東京支部「八東会」が発足して今年で一四年になり、毎年四月頃楽しい一刻をすごす年中行事として定着してきました。

ここまで来たのも最初の名簿起しから今日までご尽力された阿干氏を始め札幌本部の会長でした大黒氏および役員の方々の賜と感謝してます。

最近の会合では顔ぶれも二〇数名と定着してまいりましたが、来年の幹事の方はより一層の新しいメンバーを掘り起こしてますます盛会にしたいと張り切っております。私達も早五〇歳過ぎになりましたが、これからの第二の青春、四月の同期会だけでなく事ある毎に気のおけない仲間同志、声をかけあって大いに楽しみたいと皆張り切っております。

わが「十九の会」

中村 純子

『十九（とく）の会』って変わったネーミングだけど、どういう意味？

「この『十九』は昭和十九年のこと

なの。その年の春に私たちは札幌市立高女に入学したのよ。ところが翌二十一年に終戦、戦後の学制改革の変動期にぶつかって、卒業が三回に分かれてしまったの。つまり、生徒それぞれの希望を容れて、昭和二十三年に旧制高女の四年で、二十四年に旧制五年で、二十五年に新制の札幌市立第一高校二期生として、という具合に三年にわたって卒業したんです。入学時は六クラス三百六十人もいたのに、高三の時は三クラス百五十人ほど。太平洋戦争末期に入学して、戦後の混乱期に女学校生活を送った特異な世代というわけ。そ



昼食をとった小樽・張碓のホテル前で (H4.6.9)

んな事情から、同期会の名称も一斉に入学した昭和十九年をとって『十九（とく）の会』としたの」

——以上が「十九の会」の命名の由来を聞かれるたびに説明する言葉です。でも、この命名はそんなに古いことではありません。昭和六十二年のことです、その際に会長、副会長、会計などの役員を選出、同期会として新たな出発をしました。

この同期会でユニークなのは、区ごとに分けた名簿に従い、中央区から始めて順次に東区、西区、南区と当番幹事を移動して、毎年の総会と懇親会を開いていることです。同期会開催のための労力を毎年違うグループが分担することは、息長い交流を続けるためにもよいことではないでしょうか。

さて、同期生の多くが還暦を迎えた平成三年には、函館までの一泊旅行を実施しました。この旅がたいへん楽しかったの、その余勢を駆り、昨年も小樽・祝津の民宿に一泊しました。四十人ほどが大部屋で雑魚寝し、遠い昔の修学旅行を再現したので。

東京支部だより

バブル経済の消滅後、なかなか景気回復の兆しがみえず、政治改革ばかりに騒がしい時期ですが、東京支部の同窓会活動は、景気や政治とは開わりなく、例年通りに活発に活動しております。当番幹事として高女21期と東高19期が担当させて頂きました第15回東京支部の同窓会は昨年の11月8日(日)に有楽町のレストラン アクトレスで開催いたしました。また、今回も参加者が一五〇名を超える人数で大盛況でした。



支部総会は、小林潔司幹事長(東15期)により始められ、工藤亘美支部長(東2期)の挨拶の後、会務報告、会計報告、会則改正、役員改選を承認し、恒例の懇親会へと移りました。戸田紀美副支部長(高女18期)の乾杯で始まった懇親会は、吉中新太郎同窓会会長の挨拶、恒例となっている札幌から招待した恩師の坂東三生先生、盛田昌宏先生、更には宮田久三郎先生、佐々木貞造先生に参加していただき、すっかりリラックスした雰囲気となり、皆さん楽しく懇談し、古き良き学生時代に戻れた気分でした。途中では当番期が担当してのアトラクションを行い、古



き思い出を盛り上げた後、先輩諸氏のご厚意により、提供された多くの賞品を分配するために、最後にビンゴゲームを行い、再び、大いに盛り上がりました(二等賞品がヨーロッパ旅行のせいか、または全員に沢山の賞品が渡ったせいか)。その後は恒例となっている校歌、次期当番幹事の紹介、佐川副支部長の挨拶で閉会となりました。その後は久方ぶりに集まった各期単位の二次会へと大多数が流れましたが、当番期はその後、先輩との恩師及び二次会の場所の取り合いに勝利し、札幌から招待した先生方とともに12時過ぎまで、旧交を深めましたことを報告致します。

関東近郊にお住まいの方でまだ参加されたことのない方、今年こそ是非ともご参加下さい。今年も高女22期と東高20期の当番幹事の方々がはりきって、左記予定にて準備中です。

第16回 東京支部総会のお知らせ
日時 11月14日(日)午後1時〜4時
場所 ニュートーキョー スキヤ橋本店9F ラ ステラ

千代田区有楽町2-2-3
03-3572-2525
当番期 東高20期 岸岡 明
(03-3769-4855)

港区三田2-1-1110

同窓会事務局から

◎同期会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。

・はじめての同期会開催には：三万円
・次回以降の同期会開催には：一万円
▽申し込みはハガキで事務局へ。

期名・代表者名(フリガナつき)
・開催日時と会場を記入の上お申
込ください。銀行振込制です。

◎住所などの変更はハガキで
住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局又はメンテナン

スの会社へハガキでお知らせ下さい。

◎年会費について

年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。会員各位の特段のご協力をお願いいたします。

☆送金振込先
郵便振替口座 小樽〇一〇〇八〇番
北海道札幌東高校同窓会
011-63332

◎同好会に参加を

ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふりつて参加しませんか。今年もゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。

◎会報の送付を希望される方や、同好会、その他(意見など)遠慮なく、事務局までお寄せください。

札幌東高同窓会事務局
003 札幌市白石区菊水9条3丁目
011-831-6332
(札幌東高校内)

事務局担当

梅村・藤原
飯田・古江
阿部・五味

函館支部だより

高女6期

副会長 宇都宮節子

平成五年の函館支部同窓会が八月末に開かれる予定になっていますので、此の度は第一回の同窓会から出席させて頂いている私が、五十三年になる同窓会の思い出を...とどこどころお知らせしたいと思います。第一回の同窓会は駅前にてパーティの食堂の別室をお借りして開かれました。今ふりかえってみてもそれは忘れられない思い出です。おかげで沢山のお友達もできました。私達の大先輩の職業学校卒の方も二人出席され昔の学校のことを話してくださいました。御一人の方が湯の川温泉で「玉久」の名でホテルを経営しておられました。その後の同窓会は玉久さんをお願いして楽しい会合をもちました。何回も快く引きつけて頂きました。その時のアルバムを出してはみえています。今では函館におられる方は数えるだけになりました。

又大沼公園での同窓会、森まで出掛けて公園での同窓会も次々に思い出がよみがえってまいります。

月日の経つのは早いもので昭和から平成になり四年七月の同窓会には東高卒の方が沢山お見えになり男の方も多

数出席されにぎやかでした。高女一期生の田畑様も出席されお元気で皆さんとお話しして一ときを過ぎられました。函館同窓会を創設してくださいました山口様は、おかげが悪く、もう一人の伊藤様は札幌のお子様のお宅で亡くなられました。

函館にお住まいの恩師鈴木新造先生も何回も出席して頂きましたが、お体を悪くなされた由、早くよくなつて八月の同窓会には一時間でも出席して頂けるようお願いしようと思つてます。幹事と会計を引受けて頂いている藤島健士(東高16期)さんにはお忙しいおつとめの間に何年もして頂き感謝しています。



第十二回 H5・7・15(金)

同窓会ゴルフ大会

ゴルフ部会長 氏家 保嗣

毎年恒例の七月第三木曜日開催ゴルフ大会がタカオ滝野CCにて小雨降りしきる中スタート、参加者五十八名(女性七名)三コース同時スタートしました。

三ホール目に雨も上がり絶好のコンディションになりました。

初参加八名、入賞者九名がアンダーパーでありました。

この大会に例年ご支援を戴いております吉中同窓会会長、小山幹事長、東八期中田稔さん、氏家ゴルフ部会長、大黒副会長ありがとうございます。又運営の方をお手伝い戴きました東九期三浦紀秀さん十三期得能勝さん、中島重勝さん十九期北村優明さん及びゴルフ会各期幹事の皆さんの協力を戴き運営できましたこと誠に感謝申し上げます。

団体優勝は東十九期(ネット二七五)個人賞は次の通りです。

◎シニア、グランドシニアの部

(高女〜東七期)

ランク 氏名 卒期 G H N
優勝 高田 智代 東7 84 16 68

準優勝	平沢	寛東	2	83
1位	伊藤	秀行	東6	84
2位	氏家	保嗣	東1	82
3位	南雲	敏東	東6	89

◎東七期〜十三期の部

優勝	阿部	伸一	東7	83
準優勝	谷尻	正東	東7	90
1位	坂田	律子	東13	99
2位	寺井	弥一郎	東8	94
3位	堀尾	壮六	東12	85

優勝	小林	昭人	東19	91
準優勝	布村	俊雄	東22	83
1位	白石	明也	東22	83
2位	小原	文雄	東19	92
3位	朝倉	一展	東13	85



思い出す「校長訓話」

盛田 昌宏



昭和三十四年～昭和五十年在籍
 教科～国語
 男子バレー部、スキー部顧問

東高での勤務であった。卒業期で言う
 と十一期生の二年次から二十五期生の
 卒業までであり、仕えた校長は八代に
 及び、うち坂本・竹田両校長の現職で
 の不幸があった。

修学旅行引率の機会も多く六回に亘
 って付添った。在勤中は多くの先輩同
 僚の教員に教えられ、また多くの優秀
 な生徒、印象に残る生徒に接し、まさ
 に「教学半（教ふるは学ぶの半ばなり）」
 のことばどおり、生徒から学ぶことも
 多かった。思い出は多く、すべて懐か
 しく、霧の彼方に片々と見え隠れする
 が、敢えて記す程もなく、せめて人と
 時に語って楽しみの糧とすべきもので
 ある。とは言え一つだけ今も深く思
 いに残ることばを記して置こう。

先日七月十五日、今年も東高同窓会
 ゴルフコンペに参加させてもらった。
 卒業生諸君とラウンドするのはまこと
 に楽しいものである。その二、三日後、
 その因縁からか、この同窓会報の原稿
 を依頼されてしまった。そして、「先生
 はまだ若いから是非頼みます」という
 ことでもあった。私が若いとは、私の
 ゴルフのプレーぶりから言って呉れた
 のであろうか。

現役を退いて四年目、まだ多少の時
 間講師などはやっているが、われ衰え
 たるの感は強い。東高を去って札幌丘
 珠・北見北斗・大麻・蘭越と各高校を
 転動したが、私の教員生活の略半分は

全校集会での校長訓話は常に生徒に
 とつても全職員にとつても重要な意味
 を持つものと思っている。第十代小山
 田昌康校長の訓話の中のことばである。
 「上・農は草を見ずして草を取り、中農
 は草を見て草を取り、下農は草を見て
 草を取らず」と。若者も、人の上に立
 つ者も心すべき名言である。「先憂後樂
 」ということを忘れた現今の政治家が知
 るべきである。そして、第十一代江口
 孝校長が退任の辞で生徒に、親孝行の
 大切さの一事のみを懇懇と説いて札幌
 を去られたのが忘れ難い。

東高同窓会担当の先生紹介

第十期 梅村 理一

嘗ての生徒は、卒業三十年を経て東高国語教師となり、
 四年目に入りました。木造校舎は、グラウンドと位置を交換
 して鉄筋造りになり、緑の中庭は無くなりました。でも東
 高生は今も健全です。

第十一期 藤原 英彦

卒業生の皆様いかがお過ごしですか？母校は名実共に全
 道のトップに定着してきました。どうぞいつでも来校しハ
 ッパをかけてください。東高生は刺激をまっています。

第十三期 飯田 信幸

本校に赴任して8年目、同窓会事務局、授業では化学を
 担当しています。高校時代は美術部に所属し、忍路での写
 生旅行、一果会展など楽しい思い出があります。故伊藤正
 先生には非常に感謝しております。

第十六期 古江 憲次

同期会の名称を「東豚会」と言います。当時、先輩原
 投手の剛腕で何度も全校応援があり、校歌や応援歌を大声
 で歌いました。昨今は歌なしの応援で、寂しい限りです。

第二十二期 阿部 広美

東高に勤務して11年目に入りました。長くもあり短くも
 あり……。東高校の伝統を感じる高女時代のひな人形をこ
 の間欠かさず飾って参りました。どうぞ、ご覧くださいま
 せ。

第三十六期 五味世津子

今年の春、同級生の一人が、私と同業になりました。高
 2の時に実習にきた先輩も、道東の高校で頑張っています。
 教育は難しいことですが、多くの仲間を支えられています。

平成四年度 東高同窓会 会務報告

平成四年度の主な会務を報告します。

- 同窓会ゴルフ大会（第11回）
平成4年7月16日 滝野C.C 66名（東高1期氏家ゴルフ部会長）
- 母校学校祭（第43回東高祭）
平成4年7月17日～19日 同窓会ルーム開設、アルバム・パネルを展示、在校生にジュースサービス
- 第83回同窓会総会
平成4年8月21日 京王プラザ 当番期・9期23期、42期、テーマ「燃えろ92夏」 会券742名
- 東京支部総会
平成4年11月8日 当番期・東高19期
- 札幌市役所支部総会
平成5年3月4日 ノースシティ
- 総会決算会・引継会
平成4年12月12日 新旧当番期及び担当役員27名
- 母校支援
平成4年3月 体育文化助成金 一五〇、〇〇〇円
- 常任幹事会
※平成5年1月21日 中村屋旅館34名
会務報告・母校報告・総会準備金他
- ※平成5年5月21日 恵愛ビル27名
会務報告・決算報告・総会関係他
- 幹事会
※平成4年7月7日 恵愛ビル60名
- 総会議案審議・会券配布
※平成5年6月22日 恵愛ビル64名
総会議案審議・会券配布
- 同窓会入会式
平成5年2月27日新会員556名（累計三〇、〇四五名）・卒業記念品贈呈
- 卒業式・卒業祝賀会
平成5年3月1日
- 新幹事歓迎セミナー
平成5年4月20日 札幌後楽園ホテル 同窓会組織・現況説明他26名
- 同期会・同好会助成
同期会・ゴルフ部に助成
- 名簿・メンテナンス
岩橋印刷にメンテナンスを委託。宛名シール打ち出し、各種名簿作成など「オプションサービス」が広く会員に利用されています。
- ※サービス内容は別記の通り。
- 執行委員会開催状況
※平成4年7月7日 総会関係他
※平成5年2月12日 卒業記念品・祝賀会他
- ※平成5年4月20日 総会関係・事務局人事他
- ※平成5年5月19日 会長・副会長会議
※平成5年6月22日 総会議案、ゴルフ部会、学校祭他

平成5年度 事業計画案

- 一、定期総会及び幹事会・常任幹事会を開催します。
- 二、支部・同期会・同好会に対する助成を行ないます。
- 三、母校に対し、学校祭協賛事業と体育・文化活動その他の助成を行ないます。また、新入会員の同窓会入会式・新幹事セミナーを開催します。
- 四、会員名簿のメンテナンスと改訂名簿の発行準備、幹事名簿整備を継続して行ないます。
- 五、会費制度等の検討作業を進め、同窓会の財務強化を図ります。
- 六、「東高同窓会報」No.21を発行します。

会員名簿の購入について

昭和63年11月に発行した会員名簿（四、五〇〇円）が、まだ相当数残がありま
す。
一冊二、〇〇〇円で購入下さいます
ようご案内いたします。
申込みは、代金を添えて同窓会事務局
へ

名簿メンテナンスを ご利用下さい

オプションサービスはすでに開始され、七月のゴルフ大会や役員会にも利用されています。クラス会や同期会の事務手続きが軽減されますので、大いにご利用下さい。尚、住所等の変更は、名簿はさみこみハガキでその都度ご連絡下さい。

●オプション申込先 岩橋印刷（株）メ
ディアサービス 電話二六一一六〇一
一 ファックス二六一一六〇一三

メンテナンス・オプション料金表

種類	内容	作業料金
各種リスト出力	◇コンピュータ・フォーム用紙に氏名、住所等を出力する。	基本料（1,000円） + 作業単価（2円/人）
宛名出力（印字）	◇郵送用宛名シールの出力（印字）を行う。 ・総会、クラス会の発送用等	基本料（1,000円） + 作業単価（5円/人）
各種発送代行	◇各種印刷物等の封筒詰めから発送までの全業務を代行する。	基本料（1,000円） + 作業単価（30円/人）

※利用は会員に限ります

■ 会計報告

平成4年度決算書並びに平成5年度予算（案）

☆一般会計

平成4年度決算書

平成4年7月1日から
平成5年6月30日まで

（収入の部）

科目	予算額	収入決算額	摘要
前年度繰越金	593,422	593,422	
入会金	1,000,000	1,112,000	556名×2,000円
年会費	600,000	710,500	1,421名×500円
雑収入	650,000	709,172	預金利息、剰余金
計	2,843,422	3,125,094	

（支出の部）

科目	予算額	支出決算額	摘要
事務手当	200,000	200,000	事務局諸経費、交通費
事務用品費	50,000	28,480	用紙代他
印刷費	150,000	34,147	諸印刷代、名簿保守料
通信費	100,000	73,360	郵送料
慶弔費	100,000	79,360	餞別他
会議費	380,000	386,786	幹事会他諸会議
總會関係費	400,000	331,415	準備金
会報発行費	140,000	135,000	会報印刷代
学校祭関係費	150,000	145,230	学校祭参加諸費
同期会等助成金	300,000	180,000	同期会、同好会等助成
新会員関係費	360,000	364,208	記念品代、新幹事セミナー
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	300,000	積立金繰入
雑費	30,000	30,276	
予備費	33,422	30,000	
計	2,843,422	2,468,262	

平成5年度予算（案）

平成5年7月1日から
平成6年6月30日まで

（収入の部）

科目	予算額	摘要
前年度繰越金	656,832	
入会金	1,100,000	550名×2,000円
年会費	700,000	1,400名×500円
雑収入	700,000	預金利息、剰余金
計	3,156,832	

（支出の部）

科目	予算額	摘要
事務手当	200,000	事務局諸経費、交通費
事務用品費	50,000	用紙代他
印刷費	150,000	諸印刷代、名簿保守料
通信費	100,000	郵送料
慶弔費	100,000	餞別他
会議費	380,000	幹事会他諸会議
總會関係費	380,000	準備金、引継会議
会報発行費	140,000	会報印刷代
学校祭関係費	150,000	学校祭参加諸費
同期会等助成費	250,000	同期会、同好会等助成
新会員関係費	380,000	記念品代、新幹事セミナー
体育文化助成金	150,000	在校生助成
特別会計積立金	600,000	積立金繰入
雑費	40,000	
予備費	86,832	
計	3,156,832	

収入額 3,125,094円 - 支出額 2,468,262円 = 残額 656,832円
残額は、札幌銀行菊水支店普通預金（No.250100）に全額預入。

☆特別会計積立金（信託預入）

〔収入の部〕

前年度繰越金	2,779,817円
繰入金	300,000円（一般会計から）
収益配当金	113,888円
合計	3,193,705円

〔支出の部〕

次期繰越金	3,193,705円
合計	3,193,705円

※残高内訳

安田信託銀行札幌支店	
貸付信託（No.0910163412）	1,200,000円
金銭信託（No.0910163401）	617,030円
三井信託銀行札幌支店	
貸付信託（No.823547201601）	1,200,000円
金銭信託（No.8235472016）	176,675円
合計	3,193,705円

監査報告書

平成4年度の会計運営につき、月次同窓会会計経理状況表・支出（収入）決議書・証憑書類及び各帳簿・通帳につき監査を行いました。監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、公平妥当なもの認められました。

よって、当監査役は上記決算書が平成5年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成5年7月7日
監査役 中村隆三四 ㊞
監査役 助貞 瑛一 ㊞

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく
- (1) 名誉会長 1 名 現母校校長
 - (2) 名誉顧問 若 干 名 旧母校校長
 - (3) 顧問 若 干 名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
 - (4) 相談役 若 干 名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1 名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (2) 副 会 長 5名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (3) 幹 事 長 1 名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (4) 副幹事長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (5) 常任幹事 若 干 名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - (6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
 - (7) 監 査 役 2 名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条 役員任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する
 - (2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
 - (3) 幹 事 長 役員を分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
 - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
 - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
 - (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
 - (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
 - (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
 - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
 - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
 - (2) 会誌の発行
 - (3) 母校発展のための事業
 - (4) 本会の組織強化のための事業
 - (5) その他執行委員会が必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、2,000円とする
 - (2) 年会費は、1ヶ年500円とする。
- 第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。
- 第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。
- 第15条 会計業務は、母校事務局で行う。
- 第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。
一部改正～昭和49年8月23日
昭和50年8月25日
昭和51年8月25日
昭和52年7月17日
昭和56年8月22日
昭和62年8月21日

札幌東高校同窓会 役員名簿 (案)

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業9				
"	松尾 静江	高女22				
相 談 役	石田 アイ	高女2				
"	小野寺チズ	高女16				
"	五十嵐恒夫	東高1				
会 長	吉中新太郎	東高1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
" (広報)	小林 幸子	第一高1				
" (総会)	田中 麗子	東高2				
" (総会)	大黒 正芳	東高8				
" (総務)	岩城 弘侑	東高11				
幹 事 長	小山 国夫	東高12				
副幹事長(組織)	高木 美子	東高3				
" (総会)	高木 綏子	東高4				
" (母校)	陣内 幸則	東高9				
" (広報)	高橋 正	東高10				
" (会計)	藤枝 靖規	東高14				
" (会計)	本間 公康	東高15				
" (総会)	皆川 博文	東高17				
" (母校)	中村 紀子	東高19				
" (組織)	山崎 博	東高22				
" (組織)	村山 忠司	東高26				
監 査 役	中村瞳三四	高女21				
"	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女4				
"	菅原 三枝	高女15				
"	佐野 セツ	高女18				
"	坂東 信子	高女22				
"	石井二二子	高女25				
"	塩野 次子	第一高1				
"	横田佐和子	第一高2				
"	氏家 保嗣	東高1				
"	長谷川 修	東高2				
"	久末 祐輔	東高5				
"	鈴木 敬夫	東高7				
"	遠藤 安倫	東高8				
"	関口 晃	東高9				
"	山本 茂	東高10				
"	佐々木信義	東高12				
"	林 豊	東高14				
"	西谷 洋利	東高15				
"	伊東 康博	東高16				
"	北村 優明	東高19				
"	白鳥 英一	東高20				
"	富樫 勝	東高31				

